

「日々の理科」(第 2037 号) 2020, -2, -6

## 「愛すべき鉱物(8)」～白雲母～

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

黒雲母はかなり小さくしないと薄く剥がすことができない。しかし白雲母はちがう。「雲母の中の雲母」と言って良いだろう。私の「好きな鉱物ベスト10」に間違いなく入る「愛すべき鉱物」である。



白雲母は、両雲母花崗岩(黒雲母と白雲母の両方を含む花崗岩)や変成岩に含まれる、ごく普通の造岩鉱物である。ペグマタイト(巨晶花崗岩)中のものは、直径が10cmを超える巨大なものも産出し、実験にも使える。日本では福島県石川町産のものが有名だ。英名の *Muscovite* (マスコバイト) は、「モスクワ」の地名に由来する。かつては絶縁体として需要があった。



箱に入った実験用の白雲母を、授業前のある程度薄く剥いで、配布しやすくしておく。大きいものは、ハサミで切断しておくことも可能だ。



実験用の小片は、各自に好きなものを選ばせた。「選ぶ観点」は子どもによってちがうのが面白い。「大きさ」「透明度」「結晶の形」などだ。最後の子どもも選べるように、人数分+ $\alpha$ を用意することが大切だ。



カッターナイフとカッティングマットも、各自に貸し出す。カッターの刃だけでなく、薄くした鉱物で指先を傷つけないように、安全指導も徹底しておく。



薄く剥げると、教室のどこかで歓声があがる。この実験は、時間を忘れるほど楽しいものだ。